

渋谷のものは、生瀬橋から十万辻峠へ通じる路上に落ちていたもので、自動車と衝突したらしく、体を破損していた。切畑で本種らしいものを時々、目撃している。切畑の生息地は、ゴルフ場造成のため失われたとのことであるが（宝塚のトンボ，1982），知られない生息地がまだ市内に残っていると思われる。

4. 参考文献

- (1) 宝塚市文化財調査報告第16集 宝塚のトンボ 1982 宝塚市教育委員会
- (2) 近畿のトンボ 1984 関西トンボ談話会

アオドウガネの食草についての報告

新家 勝

VII. 2, 1985, 宝塚市高司五丁目の武庫川堤防上で、2頭のアオドウガネがオオバイボタの花を食害していた。雨中のことであり、いずれも黄褐色の糞を垂れ流していた。分布記録の証拠として1頭を採集し、標本にした。また、翌VII. 3, 1985, 前記場所とは道路を挟んで向い側の宝塚市美幸町の武庫川堤防上で1頭がやはりオオバイボタの花を食害していた。全く同地域であるため、採集しなかった。

三木市でのアオマダラタマムシの採集例

森田 真澄

アオマダラタマムシ *Nipponobuprestis amabilis* Snellen van Vollehoven を採集しているので報告する。

三木市増田, 1 ex. 14-VIII-1985. 筆者採集。

この個体は体長 2.4 mm の金緑色の光沢を放ちきらびやかな外貌を誇っている。午前 11 時 30 分頃、樹高 8~9 m, 樹幹部周囲 140 cm のアカガシ *Quercus acute* Thunb. の虚の中（地上から 1.5 m）で静止していた。

尚、この虚は地上の樹幹部全体に渡って筒抜けであったが、葉は青々と茂っていた。